

第4章／環境活動への取り組み

人吉電力所における具体的な環境保全活動についてご紹介します。

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進

お客さまへお届けする電気は、発電所、送電線、変電所、配電線といった様々な設備を経由しており、当社はそれぞれの設備に対応した環境配慮への取り組みを行っています。ここでは、人吉電力所で行っている活動の一例をご紹介します。

環境負荷の低減

水力発電所からの油流出を抑制する観点から、水車起動・停止時など弁開閉操作を油圧から電動化することで保有油量を少なくし環境に負荷を与えるリスクの低減を図っています。2005年度は2発電所を電動化し、圧油用の油を1,500ℓ低減しました。

さらに、水力発電所の潤滑油として油脂メーカーで開発された「環境に優しい油(万一河川へ流出しても自然界の微生物に分解しやすい油)」を2005年度から試験的に採用しています。



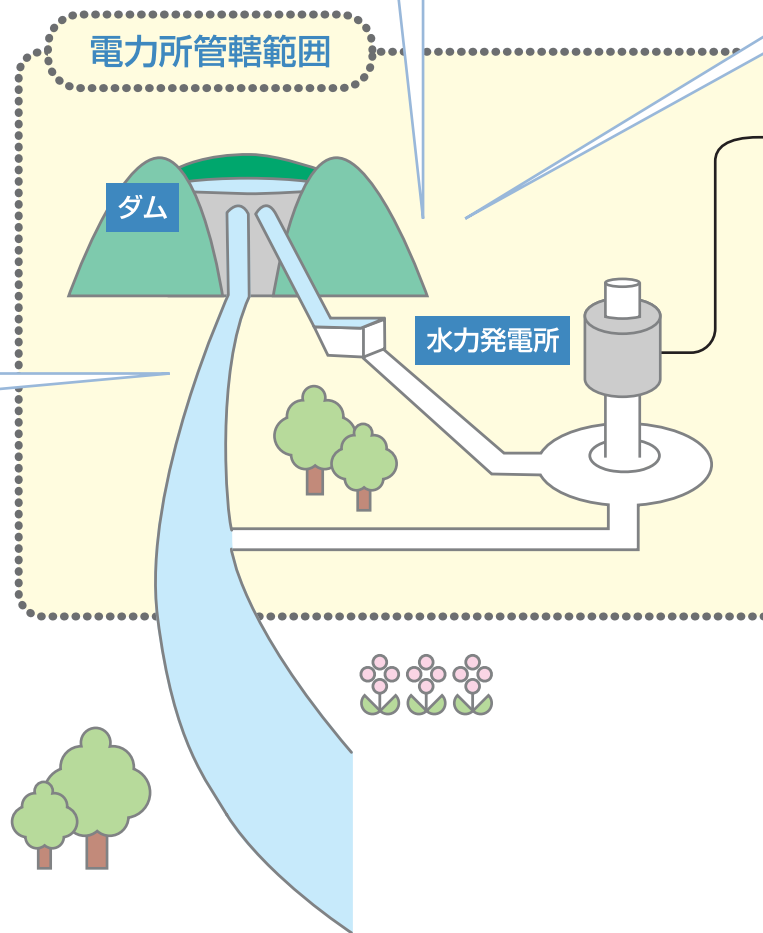
水車発電機

国産自然エネルギーの有効利用

国産自然エネルギーの有効利用の観点から、水力発電所の水車・発電機など機器取替の際には出力アップを指向しています。

2005年度は当電力所管内2発電所の出力を2,520kWアップしました。

- ・田迎発電所 2,200 → 4,700kW
- ・大野発電所 60 → 80kW



事故に備えた訓練の実施

水力発電所は河川に油が流出しない設備の構築を行っていますが、万一油が流出した場合に備え、迅速・的確な対応により、被害を最小限に抑えることが出来るように年1回定期的な訓練を行っています。



オイルフェンス設置及び油回収



訓練状況